

シリーズ
⑥9

我が家の家庭教育

篠本二区小西房子

私の家は三代に、小五の長男、小三の長女と八人家族です。

た。そんな時良く面倒を見て
くれたのが、夫の祖父母、両
親でした。今、子供達の成長
を見るにつけ、家族に感謝の
気持ちでいっぱいです。子供
達も五年生、三年生ともなる
と反抗期というか、「うるさ
いなあ。」という言葉の返つて

方”を心掛けています。子供も駄々^{らら}ける時に躊躇^{しゅう躇}なくして、仕事が優先しがちで、親のいたらないとこ^とりに叱^{なぐ}ります。供達も、家族に諭^ゆさ

家庭教育は 家族の和で

子供も喜ぶ時に駄目なくてはと思つて、子供よりも仕事が優先しがちです。幸にも、私の家は家族が多いので、親のいたらないところを補つていただけます。

行に行つた時などは、まつ先にとしょさんへのお土産をさがします。子供達にもそのような習慣がついています。長男はとしょおじいさんが大好きです。

子供は親の言うようにはならない。するようになる”と

だけはしていくつもりです。
十余年の歳月をふり返つて
みると、反省することばかり
多いのですが、家族に助けら

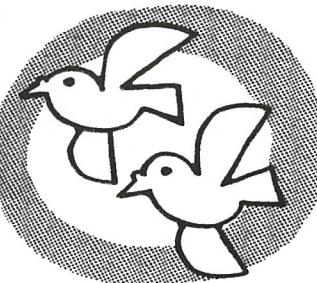
くることも度々です。そんな時の私は本気で子供と言い争つてしまい、後で反省することができ度々でした。

かあさん、ごめんね」と素直に謝まってくれたことも度々ありました。

言われます。子供の家庭教育の基本は、親の毎日の生活の中に良いお手本になるような

れながら今日まできました。今年はすばらしい体験をしました。それは、あけぼの橋の渡り初め式に一家三夫婦そろつて参加させていただいたことです。

これからも、家内中が健康で、心のふれ合いを大切にしながら、子供の成長を見守りたいと思います。



児童・生徒作品コーナー



白浜小学校児童の紹介



[さつまいもほり]

1年1組 実川 良子さん



〔かいせんとうで遊ぶ人〕

1年2組 伊藤喬也くん
かいせんとうにぶらさがつ
ている人のからだをがんばつ
てかきました。



▲3世代の小西さん一家